



役員だより

今後の「在宅医療」について

関西サナトリウム
院長 花房 辰哉

高齢化社会の中、「病院から在宅へ」と向かう流れがますます強くなっており、一人の患者の命を守るためにこの先医療はどのように対応してゆけばよいのか、「在宅医療」の現場では実際何が問題なのか、今まで少なからず「在宅患者」をみてきた経験をふまえ自分なりの考え方をまとめてみたいと思います。

まず「在宅医療」とは、自宅及びそれに準じた場合において病院でなされるべき医療をうける事ではなく、例えその人がいかなる疾患であろうが、またそれがどのような状態にあったとしても、自分らしい生活を最後まで送れるようサポートする制度であると考えます。しかしながらこの制度を維持してゆくためには医療・看護・介護を提供する側の人材確保が必要です。また特に都市部において在院日数の短縮等のため医療を必要とする患者が増えており、そのためには人工呼吸器、在宅酸素療法、胃ろう管理、疼痛管理等に対する幅広い知識や、インスリンはじめ薬剤に対する一定の知識等も必要になってきます。従って在宅診療に本当に取り組むためにはその管理体制維持のために、提供者側の負担は入院以上に増す場合もあります。また医療知識に加え、24時間365日間の臨機応変な対応も必要となってきます。

くり返しになりますが、病状が安定した状態で推移し、利用者の要求に答えるためにはプライマリケアとしての幅広い医療知識が求められることは当然のこととして、自分がこれまで培った経験を生かして、在宅にある患者を『受け入れて』『迎え入れる』ことが最も必要なことだと考えます。そのような姿勢・態度で臨めばおのずと無理をしない範囲で自分の担当する患者像が少しずつ見えてくるはず。 「在宅診療」は決して特別な診療形態ではなく、あくまで通常の診療の延長線上に位置するものだと考えます。

最後になりますが、当院において現在私は精神疾患を基礎疾患としてお持ちの方もみえます。今後当院にて精神神経疾患等の在宅診療にも携わることがあれば、患者様御自身がかく暮らしたいと願う場所において、痛みなく、苦しくなく、辛い時間を少しでも提供できればと願っております。

平成三十一年四月一日



新入職員の紹介

当院に新しく1名の職員を採用しました。より診療体制の整備に向けて、新しく仲間と共に病院理念である「一隅を照らす」医療を目指し、今後も努めて参ります。



総合リハビリテーション課

いしがみ こうき
作業療法士 石神 光基

平成31年2月21日付けで総合リハビリテーション課に配属されました石神光基と申します。作業療法士としての経験は未熟ですが、これから関西サナトリウムの職員として自覚を持ち一刻も早く病院の雰囲気や仕事に慣れたいと思っています。

そしてなにより患者様・職員との交流を深め、よりよい支援に繋がるよう常に模索・勉強していきたいと思っております。また私の趣味はフットサルや釣りです。運動やスポーツ、時事ネタなども好きですので、ぜひ気軽に声をかけてください。関心のある方は、ぜひお話ししましょう。



地域連携室だより

地域連携体制の強化について

当院では外来初診は予約制となっておりますが、地域の病院に入院されている方にスムーズな診療を受けていただくため、平成31年4月1日より「近隣病院受診相談窓口」を新設しました。出来るだけご希望に沿った案内をさせていただきます。お気軽にご相談ください。

【 受診相談の流れ 】

- ①まずは地域連携室にお電話ください。
- ②紹介状等の情報がありましたら事前に送付ください。
- ③受診の調整ができましたら連絡いたします。
- ④当院へ診察にお越しください。

● ご予約は地域連携室へ ●
 TEL 080-4027-5102
 又はTEL 072-462-8321 (内線64)

地域連携室 担当：藪・仲井

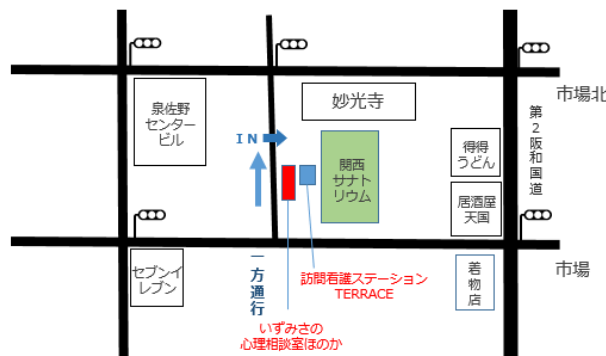
診療時間表

精神科						
	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 13:00~16:30		○	○		○	

※?項目は完全予約制
 ※日曜日・祝日・12/30~1/3



交通アクセス



○電車でお越しの方 南海泉佐野駅下車 南南東400m (徒歩5分)

○車でお越しの方
 阪神高速湾岸線「泉佐野IC」より南東へ1km
 関西空港道「泉佐野IC」より国道26号線右折→「市場」交差点を左折→200m右折

